

# いわて 議会だより

2014.03

31

## Contents

- 2 第2回臨時会、第4回定例会
- 3 一般質問
- 15 委員会報告
- 18 フォトギャラリー、3月議会の本会議開催予定日

発行：岩出市議会  
〒649-6292 岩出市西野 209  
編集：議会広報常任委員会  
TEL 0736-61-6947  
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

# 平成25年第2回臨時会及び第4回定例会議決結果

案 件 名	結 果	賛否（○……賛成 ×……反対 —……賛否に加わっていない）															
		公明党 議員団			日本共産 党議員団		岩出クラブ			郁青青 クラブ		ネット岩出					
		宮 本 要 代	玉 田 隆 紀	田 畑 昭 二	市 来 利 恵	増 田 浩 二	西 野 豊	上 野 耕 志	福 山 晴 美	松 下 元	山 本 重 信	三 栖 慎 太 郎	梅 田 哲 也	田 中 宏 幸	井 神 慶 久	吉 本 勸 曜	尾 和 弘 一
上告受理の申立て	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		×	—	○	○	○	○	×
平成24年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成24年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成24年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成24年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成24年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定	可決及び認	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
サンホール設置及び管理に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市臨時的任用職員の給与等に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市税条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市行政財産使用料条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市学校給食分担金徴収条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市公民館設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市陶芸館設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市体育館設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市民スポーツ広場設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市学校施設使用条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市総合保健福祉センター設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
いわで御殿設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市農業構造改善総合センター設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市水田利用再編対策研修指導施設設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市農家高齢者創作館設置及び管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市都市公園条例の一部を改正する条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市下水道条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市道路占用料徴収条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市法定外公共物管理条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市水道事業給水条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市一般会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
根来公園墓地の指定管理者の指定	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
さぎのせ公園の指定管理者の指定	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
住宅リフォーム助成制度創設を求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○
国による子ども医療費助成制度の創設を求める意見書の提出	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

（議長のため、賛否に加わることができない。）

# 一 般 質 問

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。  
※質問事項をすべて記載しています。内容等については質問者にお問い合わせください。

## 西 野 豊 議員 4 頁

- ◎県道泉佐野岩出線の街灯整備について
- ◎自転車登下校時における通学マナーの悪さについて

## 井 神 慶 久 議員 5 頁

- ◎大門池、新池について

## 山 本 重 信 議員 6 頁

- ◎バイパス景観について
- ◎岩出橋手すり崩壊について
- ◎バスの運行方法について

## 宮 本 要 代 議員 7 頁

- ◎交通安全教育について
- ◎女性特有のがん検診について
- ◎防災について
- ◎市民表彰について

## 三 栖 慎 太 郎 議員 8 頁

- ◎市立小中学校へのエアコン導入（冷房化）について
- ◎指定管理者選定に関する事項の公表について

## 福 山 晴 美 議員 9 頁

- ◎国体開催に向けて
- ◎敬老会について

## 市 來 利 恵 議員 10 頁

- ◎あいあいセンター内、子育て支援センターの施設改善を
- ◎交通弱者対策の充実を
- ◎難聴者福祉について

## 田 畑 昭 二 議員 11 頁

- ◎小規模がけ崩れ対策について
- ◎子どもの安全対策について

## 増 田 浩 二 議員 12 頁

- ◎健康維持・介護予防について
- ◎安全対策について

## 尾 和 弘 一 議員 13 頁

- ◎時代認識について
- ◎騒音対策について
- ◎根来断層について
- ◎防災と減災について
- ◎上下水道行政について
- ◎小型家電について
- ◎大門池について
- ◎非婚ひとり所帯について

## 玉 田 隆 紀 議員 14 頁

- ◎災害対策について
- ◎交通対策について

## 国へ意見書を提出しました

国による子ども医療費助成制度の創設を求める意見書

子ども医療費助成制度は、公的医療保険制度を補完する制度として全国の多くの都道府県・市町村で実施され、子どもの健全な育成と児童福祉の向上に大きな役割を果たしているが、この助成制度については、地方自治体の長の考え方や、財政力の差によって、自治体間に格差が生じている現状がある。

国として、早急に格差是正策に取り組み、制度化することが望ましい。既に、ドイツ、フランス、イギリスなど、多くの国々では無料化されており、子ども医療費の自治体間格差をなくし、少子化社会において安心して子育てをするためにも、国は早急に特段の配慮を払うべきである。

よって、政府においては、更なる子ども医療費の助成を制度化し、自治体間格差の是正をするよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担

当大臣(少子化政策)



西野 豊 議員  
(岩出クラブ)

# 県道泉佐野岩出線に街灯を 自転車通学のマナーについて

平成25年度開催の市政懇談会10会場に参加し、市民の皆様のご意見・ご要望に対する回答について質問します。

## 質問

県道泉佐野岩出線の街灯整備に対して、県に要望していくと回答しているが、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を控え、おもてなしの意匠からも、和歌山県の玄関口としてふさわしい道路でお迎えするといった考えのもと、その後の経過説明を求める。

## 答 弁 事業部長

道路管理者である県に對して、道路照明灯の設置要望を行った。

県からは、設置計画は無いとの事だが、根来さ

くらの里出入口は、横断歩道が設置されている交差点ですので、事故を未然に防止するとの観点から引き続き要望します。

## 質問

①中学生の登下校時の自転車走行マナーの改善には、教育委員会も積極的に取り組んでいくと回答をしているが、その後の取組の詳細説明を求める。  
②現在、歩きスマホ等の事故が多発している中で自転車登下校時にスマホを使用しているのを見受けると、教育委員会は現状を把握しているのか。  
③自転車走行マナー等について、現在音楽を流しているごみ収集車のスピーカーからの呼びかけによる周知啓発をしてはどうか。

大阪府某市で、ごみ収集車からの呼びかけをして効果を上げているかどうか。

## 答 弁 教育長

①教育委員会を事務局として、交通安全対策チームを立ち上げ、巡回バスにて通学実態の把握を行い、特に危険な場所を中心に教職員が要所に立つて指導を行っている。  
今後は、岩出署による交通安全教室を全ての学校で実施する。  
②自転車での携帯電話使用による事故が後を絶たず、その者が加害者となるケースも増えている。学校への携帯電話持込は基本的に禁止ですが、守っていない生徒もいると認識している。

特に休日での使用ケースが多い事から、生徒への指導強化をしよう。

## 答 弁 生活福祉部長

③ごみ収集車は、周知啓発に活用する機能を有していないが、啓発広報に効果的で有効な手段と考え、今後、車輛更新等に際して、機器の選定等検討していく。

## 質問

①②は、今後も継続して推進して頂きたい。  
③は、早期実現を要望する。

## 答 弁 生活福祉部長

導入自治体や機器メーカー等からの情報収集を行い検討する。





井神 慶久 議員  
(ネット岩出)

# 大門池・新池 係争について

## 質問

大門池・新池の係争についての市の考えは。

## 答 弁 市長

大門池・新池は法務局の不動産登記簿や市の土地台帳でも、また、毎年の決算書において普通財産として議会の承認をいただいております。市の所有は明らかで、紀の川用水の通水により法的な保護を受ける水利権は存在しないと考えています。また、市有財産である大門池・新池は、市民全体の財産であり、市行政として市有財産を守ることは当然の責務であります。

## 質問

過去の経過と問題点・争点について。

## 答 弁 教育部長

平成14年11月19日に、水利組合から臨時総会の結果報告として図書館建設について賛成多数で進めることに決まりました。



大門池

と報告を受け、町では本格的に建設事業を進めることに決定した。その後もお互いの信頼関係を築きながら交渉を積み重ねた結果、平成15年6月23日には合意成立の段階となり、同年7月28日に町の合意案を提示した。ところが、前理事長からその日、突如として、逆に協定書案が提示された。この協定書案は、これまで誠意を持って交渉に当たってきたことを無視したもので、自己の利益だけを追求した理不尽な要

求であり、円満解決を期して交渉してきたものが水泡に帰し、今後の対応は、弁護士の指導を受け進めていくことを伝えました。その後同年8月22日に、水利組合理事会において再度交渉する決議がされ、さらに補償費を増額した契約案を11月18日の理事会において全員一致で合意し、調印する段階に至りました。

しかし、一部の方が所有権を主張し、理事会で対応できかねるとの申し出があり、12月中旬に3回にわたり説明しましたが、説明責任を果たしていないという趣旨不明の言動を繰り返すばかりで実りのない話し合いに終始した。理事会で承認されているものを容易に覆すような交渉は全く意味のない結果となりました。一年半にわたる交渉で、池の所有権を主張するものに水利の補償をすることは基本的に矛盾していること、不動産登記簿の所

有権の記載を無視して交渉する事は、町民、町政に対する背任行為であるなどから、交渉を打ち切らざるを得ませんでした。今回の大阪高裁の両池に共有の性質を有しない入会権を水利組合に認められた判決について到底受け入れられない事から、議会承認をいただき、上告受理の申立てを行いました。



新池

# 岩出橋手すり 崩壊の危険



山本 重信 議員  
(都青青クラブ)

## 岩出橋手すり崩壊

岩出橋の歩道側手すりが、錆びて穴があき、開口部ができ、いつ崩壊しても不思議でない状態です。この岩出橋は、小・中・高校生合計五百名を超える子どもたちが、通路として利用しています。安全がすべてに優先します。緊急に、手すり補修を県へ要請すべきです。

### 質問

①県の担当部署・岩出市の土木課・市の教育委員会は、現状をどのように認識しているのか。  
②今後補修をどのような手順で実施される予定なのか。

### 答 弁 市長・事業部長他

①市民の安全性の確保が第一であり、特にこの岩出橋は、多くの児童生徒の通路であり、県へ平成25年11月25日に早急な補修工事の要請をいたしました。土木課としましては、早

急に現状を調査し、和歌山県担当部署に要請し、速やかに対応いたします。

②具体的対策は、特に腐食の著しいところは、早急に応急修理を実施し、全体的な抜本対策は、平成26年度で対応するとの答弁をいただいています。

通学時の安全確保は、交通安全対策チームを立ち上げ、高校と県の教育委員会と連携をとり対応実施。



手すり崩壊

## 国道雑草対策

### 質問

国道24号線バイパス道路の中央分離帯及び、歩道の樹木や通路に雑草が生い茂り、交通安全面や環境美化的にも景観を損ねています。

また、平成27年にはわかやま国体が開催されます。お客様に対しておもてなしの心で迎えられるよう、国と岩出市民ができる何らかの対策について、市の考えは。

### 答 弁 事業部長

国では、道路管理上問題があれば、要望に基づき対応する。

岩出市として来てよかった、また訪れたいと感じていただければ、願っています。そのため、景観と通行の安全確保が必要と考えています。また、市内ボランティアによる、道路清掃や企業や店舗の方々に、道路維持管理を呼びかけることを検討し、官民一体となっ

たおもてなしの活動の促進に努めてまいります。



歩道の雑草

## 巡回バス関連

### 質問

市内全域を回る巡回バスコースの新設。また、高齢者の補助制度を作ってほしい。

### 答 弁 総務部長

市内全域の巡回バスコース新設、現時点では考えていません。

大阪方面路線バスについては、高齢者の方の岩出市内区間のみ利用について、今後検討します。

# 自転車走行

# 命を守る安全教育を!!

交通安全教育について

歩道のない車道では、自転車は路側帯を車と同じ左側走行

## 質問

改正道路交通法の施行を機会に、みずからの命はみずから守るという意識を育む交通安全教育を学校で行っていただきたい。

① 自転車走行の規則厳守の徹底。

② 保護者への啓発。  
③ ヘルメット着用指導。

## 答 弁 教育長

① 改正道路交通法の趣旨を担任から徹底するよう校長会で指示。

・ 今後、岩出署と協力し、交通安全教室を開催。

・ 改正道路交通法に基づく自転車の交通ルールの徹底に取り組む。

・ 校外学習時や集団下校時など、道路における現場指導の徹底。

② 教育委員会から、保護者の責任の重さや自転車保険の加入等啓発に努める。

③ ヘルメット未着用で事故に遭った具体例を交え、命の大切さとあわせて引き続き指導する。

宮本 要代 議員  
(公明党議員団)

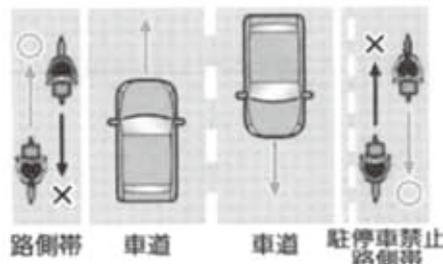


### ■ 自転車が通行できない路側帯



※ 自転車は原則、車道通行。路側帯を通行する際は、歩行者を妨げないような速度や方法での進行が義務付けられている

### ■ 自転車が通行できる路側帯 (12月1日以降)



那賀病院に女性外来の設置を

## 質問

女性の医師、技師による子宮がん検診、乳がん検診の日を設け、受診率の向上を。

## 答 弁 生活福祉部長

産婦人科

男性医師 3名

女性医師 1名

(火曜日のみ)

乳腺外科

男性医師 2名

女性医師 1名

マンモグラフィー担当

男性技師 2名

女性技師 1名

女性の医師や検査技師の絶対数が不足。

現時点では、女性医師によるがん検診の日の設置は困難。

女性医療への取り組みを進められるよう那賀病院に働きかける。

## 質問

① 平成26年度に総合体育館の和式トイレを洋式に改装を。

② 避難所となる公民館の和式トイレを洋式に改装を。

## 答 弁 教育部長

① 平成26年度、1・2階の和式トイレを洋式に各1基改修予定。

② 平成26年度、福祉避難所と位置づけられている岩出、船山、桜台地区公民館の和式トイレを洋式に改修予定。





三栖慎太郎 議員  
(都青青クラブ)

## エアコン導入について

### 質問

数十年前の建築基準で建てられた学校は、断熱性が低いうえに、窓面積も大きく、「夏の教室環境の悪化」は大人の経験値よりはるかに深刻化している。また、PFI方式を活用し、設計から維持管理までを一括発注する方法で経費を通常の7割程度に抑え、市内全小学校に単年度で一斉にエアコンを設置する。また、エアコンをリースにして初期費用を1割以下に抑える先行自治体の導入事例が蓄積されてきている。

さらに、空調システムがめざましい技術革新

# 小中学校への エアコン導入(冷房化)を 指定管理者選定に関する 事項の公表を

で、高効率化しており、ランニングコストの低減が著しく進んでいる。

学校は暑いところ、エアコンは贅沢品といった固定観念に流されるのを、大人である私たちがまずやめ、ゼロベースで研究検討する時期だと考えるがいかがか。

### 答 弁 教育部長

近年、猛暑傾向にある。そのため、普通教室には扇風機を設置、日差しをきつい教室には遮熱フィルムを張り、環境改善対策を講じている。また、保健室、パソコン教室など必要な特別教室は全てエアコンを完備している。現時点で普通教室へのエアコン設置計画はない。

ただ、PFI方式によるエアコン設置は、事業コストの削減や支出の平準化といったメリットが期待されるため、国や近隣自治体の状況も見極めながら、今後も研究していく。



### 指定管理者選定に関する事項の公表について

### 質問

先行自治体の導入事例を参考にしつつ、市民ニーズに応えるサービスの質向上と、費用の適正な節減が可能な指定管理者制度とするため、市に合った運用を研究・検討し、HPで、①施設概要

- ②募集要項 ③業務内容を含む仕様書 ④選定経緯と選定結果(委員、開催経緯、結果、基準、審査結果、評価点、議事概要、提案に対する質疑、意見)
- ⑤指標 ⑥関係条例等の参考資料 ⑦問合せ先担当課について、積極的かつ継続的な情報公開を求める。

### 答 弁 総務部長

団体の提案には著作権、特許権、特別なノウハウ等が含まれており、全ての公表は、団体の財産権、正当な利益等を損なう恐れがある。また、委員の率直な意見交換や意思決定の中立性が損なわれる恐れもある。

ただ、選定委員会内容の公開は、審査の公平性、透明性を高める。また、市民の理解を得るためにも大切であると考えており、今後検討していく。





福山 晴美 議員  
(岩出クラブ)

# 岩出市ならではの 魅力あふれる国体に!!

平成27年紀の国わかやま国体・大会が開催予定。岩出市では、

- ・ハンドボール
- ・バドミントン
- ・ボウリング

の競技が行われる。市民の皆様も、できる事で参加していただき、これを契機に市民との協働を推進し、今後のまちづくりを生かしていければと思う。

## 2015 紀の国 わかやま 国体 第70回国民体育大会



バドミントン



ハンドボール



ボウリング

### 質問

①おもてなしの取り組みは。  
②国体を契機に市民を元気にする取り組みは。

### 答 井 市長公室長

①おもてなしはさまざまな分野にわたる。例えば競技会場は選手が最高のパフォーマンスを発揮できるように。また、応援観戦にも配慮する等、多岐にわたったり、おもてなしの心を持って全力で取り組む。

②県民参加の国体をテーマに県民運動が展開。花いっぱい運動・スポーツイベント・おもてなし運動等、本市もすでにたくさんの方に参加していただいている。

今後、ボランティアを募集し、広く市民の協力をお願いする。

### 敬老会について

### 質問

案内状は安否確認を兼ねて職員が届ける。一日ゆっくりと楽しんでいただく敬老会。送迎バス・お弁当・演芸は、たくさんの方に喜ばれているが高齢化が進んでいる現在、同じ形式でこれからも開催できるのか。



### 答 井 生活福祉部長

敬老会招待者	
対象年齢人数	
平成 23 年	6,604 人
平成 24 年	7,004 人
平成 25 年	7,254 人
毎年 300 人～400 人増	
3 年後は年間 700 人～800 人増	

対象者増加に伴う状況から、数年前より敬老会実行委員会から見直しの必要性の指摘があり、県内各市の情報収集を行った。

事業内容を継続していくため、施設の収容規模、観覧者数等を勘案し、招待者対象年齢を平成26年度より、毎年一歳ずつ5年間引き上げ、最終的に数えて75歳とする見直しを考えている。

# 磁気ループの整備 対策を!



市来 利恵 議員  
(日本共産党議員団)

年齢とともに聞こえが衰える老人性難聴は、70歳以上で約半数、全国では1,000万人に及び、国民10人に1人は高齢難聴者といわれています。

補聴器は眼鏡ほど万能ではなく、反射音や騒音が障害となり、うまく聞こえない場合があります。

そこで聞こえを支援する磁気ループという集団補聴装置があります。(国際的にはヒアリングループ) 補聴器は周囲の音を全て拾うが、磁気ループ



は音声信号を磁気に置きかえてヒアリングループに対応できる補聴器システムです。

## 質問

① 難聴者の対策は。

② 磁気ループについての市の認識は。

③ 高齢化が進む中、難聴者にもバリアフリー化を進めるため磁気ループの整備が必要と考える。

全国各地で行政窓口、公共施設などへの設置、貸し出し用の携帯型磁気ループなど設置例があります。

市でも可能なところから磁気ループを取り入れ活用促進を求めるかどうか。

## 答 井 生活福祉部長

① 手話通訳者や要約筆記奉仕員の派遣、補聴器の給付事業を行っている。  
② 補聴器を使用している方にとって音声が反響する場所や雑音のある場所では、必要な音声を聞き

取るために有効な装置であると認識している。

③ 県内他市で磁気ループを購入し、市民に貸し出しを行っているところも複数ある。

県も市町村が行うイベント等に対する貸し出しを行っています。

今後、市民からの要望や導入済み自治体における実績調査を踏まえながら検討する。

## 交通弱者対策の充実を

境谷地区・押川地区対策について。市の巡回バスは、この2つの地域には乗り入れておりません。

巡回バスの運行には苦勞されているが、市民のニーズには全て答えられないという現実がある。

今後、デマンド交通システムを加えた公共交通対策を検討する必要があると考える。デマンド交通とは、利用者の需要、予約を集約した形で運行



する乗り合い交通手段で、バスとタクシーの間などの間に機能が位置している。

## 質問

巡回バスが走らない2つの地域で、デマンド交通の導入を。

## 答 井 総務部長

導入の考えはないが、他の自治体の例など資料収集に努めていきます。

# 小規模がけ崩れ

# 対策事業を！

和歌山県小規模がけ崩れ対策事業を。

## 質問

・昨年伊豆大島に於いて大規模な土石流による災害があり、多くの方々が被災されました。

・ 本市に於いても、台風・大雨時にがけ崩れ等による被害が懸念されている箇所が何ヶ所かあると思われるが、その中で、今中162番地付近に隣接する東



田畑 昭二 議員  
(公明党議員団)

側山林斜面について、以前より、住民の方々から、がけ崩れによる災害を危惧されており、その防護策として、和歌山県小規模がけ崩れ対策事業により、対応はできないか。また、市としてこの事業に対して、バックアップ体制は取れないか。

採択要件を満たせば、県に申請等を進める。

## 答弁 事業部長

県事業である小規模がけ崩れ対策事業は、斜面の勾配が30度以上、がけの高さが5m以上、被害を受ける人家の数が5戸以上など、これらの採択要件を満たす場合、申請により危険ながけ地を整



危険な斜面箇所

備する事業で、市としては、県の助言をいただきながら現地調査を行い、該当すれば県に対して申請等の事業を進めていく。

## 質問

子どもの安全対策について、万全な対応を。

・ 当市では、朝立ちから始まり、昼夜にわたり青少年育成会議の方や、ボランティアの方々の活動により、かなりの青少年犯罪の抑止力となり、子どもたちが守られていることに、敬意と感謝を申し上げます。

・ 当市の過去3年間の子どもに対する犯罪は何件あったか。そのうち、検挙件数は何件あったか。

・ 昨年10月31日午後5時50分頃、岡田グラウンド付近で女子中学生が若い男に襲われそうになったが、あやうく助かり、地域住民より、暗い所の防犯灯設置と防犯ビデオ設置の要望があったが、その後の対応はどうか。

教育委員会申請の防犯灯設置を行う。



地域で子どもを見守ろう

## 答弁 教育長

平成22年度16件、平成23年度23件、平成24年度39件、平成25年10月現在で23件発生している。

・ 検挙件数は、平成22年から現在まで2人で8件です。子どもの安全対策として、防犯ブザーの携行と、大人が見守ることの環境整備であり、早朝の市内巡回、青色パトロール等の強化を行う。防犯灯の設置要望は、教育委員会として申請を行い、防犯ビデオの設置は早急な対応は難しい。



増田 浩二 議員  
(日本共産党議員団)

# 健康増進施策の推進で 若返りや生きがいを

## 質問

高齢化社会を迎え、介護予防、転倒予防策推進、国保や介護保険会計の財政負担軽減のためにも自治体としての取り組みが問われています。

①「元気でまっせ体操」(大東市)「荒川ころぼん体操」(荒川区) などユニークなオリジナル体操が各地でつくられています。若返りや寝たきり原因3番目の転倒防止など、市民の健康増進を目的に独自のオリジナル体操をつくり、国保や介護費用軽減を図っているのです。

岩出市でもオリジナル体操を考えてはどうか。

②総合保健福祉センタートレーニンングルームは、

介護予防と健康づくりの中心に変わるといのが今後の運営方法は。

高齢化社会に対応する新たな事業展開を進める上でも類似団体と比べて少ない職員体制の充実、見直しを。



岩出市総合保健福祉センター

## 答 弁 生活福祉部長

①シニアエクササイズ教室を中心に進めており、介護予防のオリジナル体操は考えていません。

②介護予防の自主グループ利用が増加しており、日常的に実践されている方々の希望に添えるよう

に貸し出しを行っていき

たい。指導できる方が少ないのが課題であり、改造面は、施設運営の中で対応していきたい。

## 答 弁 総務部長

次年度以降の事業計画を聞き取った上で人員確保に努めています。

## 川尻の渋滞緩和策推進を

## 質問

農免道路川尻周辺は、朝夕だけでなく昼の時間帯でも混雑する場合があります。泉佐野バイパス交差部の農免東西の青信号の時間が短い点や、旧泉佐野線交差部の信号時間も影響していると考えます。

影響調査を含め、県に

対して渋滞緩和策推進を。

農免道路の曾屋コンビ二交差部、赤垣内交差部の改良見直しは。

## 答 弁 総務部長

農免道路と交差する交差点は、東西南北の交通量を考慮し、信号の秒数を調整していると警察から聞いています。早急

## 答 弁 事業部長

曾屋の信号機設置は、緊急性、妥当性、道路状況等を考慮して判断するとなっており、設置が難しいと伺っています。赤垣内交差部は、道路拡幅ができており早急な安全対策の必要性は低いと考えられています。





尾和 弘一 議員

# 上下水道「値上げしないで」 他市より高い!!

## 質問

市民の声を無視して4月から値上げされることになった。今後不満が続出する事でしょう。

水道料金については不合理性が存在している。

「毎日使用するものは値上げしないでほしい」「他市より高い」「消費税も上がる」「年金生活のため厳しい」等々市民の生活はダブルパンチで生活は益々厳しさが増します。安易に値上げすべきではない。

上下水道の企業会計では、消費税法第60条で市は国に消費税を納める義務がなく公共料金に転嫁せず、市民の負担軽減を行うべきと考える。

①使用していない水道の基本料金が20㎡以下を一律に2,100円となっている。細分化していくべきである。  
②他市に比較して分担金が高額である。再検討すべきである。



## 答 井 上下水道局長

①一律に料金設定をしている。これは県下でも多くの自治体が採用している。

この制度は、水道施設を適正に維持していくために必要な経費や水道の使用の有無にかかわらず発生する固定費の一部を回収し、利用者間の負担の公平性を図る観点から現行制度を維持したい。  
②分担金は、新旧利用者の負担の公平性を確保する。施設の拡充整備に要する費用を目的にしている。

る制度です。市の分担金が高設定である事は認識している。

現段階では見直しの予定はありません。

## 質問

基本水量以下の所帯が3,400戸からある。分担金が高額であると認識を示されたが、条例が施行され年月が経過している。

①この制度を改めて5㎡単位に細分化すべきだ。

②水道会計の剰余金が現在32億円からあり見直しすべきである。

## 答 井 市長

加入分担金が高設定である事は十分認識している。

今後予想される更新事業等の確保が必要な事から現段階では見直しの予定はありません。

## 答 井 上下水道局長

□径別に差がある。しかし、一般家庭で95%が

13□径である。しかし、岩出市に転入された方から苦情等は聞いていない。左の図は、初めて水道を設置する時の負担金です。

口径(㎜)	岩出市	和歌山市	有田市	橋本市	紀の川市	海南市	田辺市
φ 13	216,000	73,500	36,750	150,000	250,000	73,500	63,000
φ 20	756,000	136,500	105,000	450,000	600,000	210,000	90,300
φ 25	1,512,000	346,500	178,500	750,000	930,000	378,000	178,500
φ 30	1,944,000				1,350,000		273,000
φ 40	4,644,000	1,071,000	525,000	3,000,000	2,400,000	945,000	546,000
φ 50	8,100,000	1,837,000	882,000	5,250,000	3,700,000	1,365,000	903,000
φ 75	1,881 万円	4,998,000	2,205,000	1,500 万円	8,350,000	3,150,000	2,520,000

岩出市は平成 26 年 4 月 1 日施行金額、他市は平成 25 年度です。

# 万全な対策を



玉田 隆紀 議員  
(公明党議員団)

## 災害対策について

### 質問

①地震速報受信警報システムの内容は。  
②地震速報受信警報システム導入の考えは。  
③小中学校以外の公共施設における非構造部材の耐震対策について。

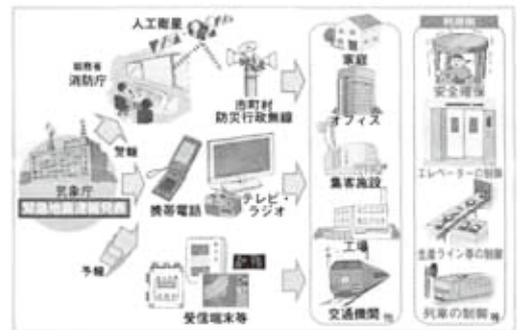
### 携帯電話対応・研究について

### 答 弁 生活福祉部長

①緊急地震速報の受信は、専用の受信端末を設置する方法のほかに携帯電話によっても受信することが出来ます。  
②専用の受信端末の設置ですが、費用がかかることや保育所は避難所の指定から外れるなどのことから、携帯電話による受信で対応する。

### 答 弁 教育部長

①緊急地震速報受信システムは、気象庁と連携していますが、通信サービスを提供している企業が独自に運営しているシス



緊急地震速報の伝達と利用

テムやJアラートを活用したシステムなどさまざまであり、県内の主な自治体の学校への設置状況などを調査しました。

設置完了または、予定の実態は、和歌山市、御坊市、田辺市など海辺の自治体が多く第一には津波対策でした。

②本市では小中学校の耐震化工事を既に完了しており、津波の到達も想定されていないことから、いち早く屋外に避難する必要はなく、揺れがおさまってから運動場等に避

難するほうが安全であるとの考えから、携帯電話で対応可能と判断しました。

今後、Jアラートの活用や安価で信頼できる代替品の検討、他の自治体の状況等について研究していきます。

### 答 弁 総務部長

③総合体育館や総合保健福祉センターの天井などの耐震対策については、平成26年4月1日施行の建築基準法施行令の規定に基づき、国土交通省から示される技術指針に基づき必要な対策を講じていきます。

公民館についても平成26年度から実施計画に基づき、対応していきます。

### 交差点の改良を

### 質問

①山宮の浦団地から県道に出る山村バス停近くの交差点は北側道路が一部狭くなっているので対向できないため信号標示が3現示になっています。

北側道路の道幅拡幅での交差点改良の考えは。

### 取り組について

### 答 弁 事業部長

①交差点改良を進めていくには、沿線関係者の協力が必要不可欠であり、土地所有者の同意と諸条件を整えば安全性・緊急性をかんがみ計画的に取り組んでいきます。



# 各常任委員会 活動報告

## 厚生常任委員会

- 委員長 山本 重信  
副委員長 福山 晴美  
委員 田畑 昭二  
〃 吉本 勸曜  
〃 増田 浩二

平成26年1月15日

岩出市の長寿介護課の  
所管内容と、今回、重点  
項目として、介護認定者  
数と、認知症患者の現状  
と、認知症の予防・対策・  
取り組みについて研修し  
たので報告いたします。

講師 長寿介護課

副課長

- 長寿介護課の主な事務
- ・長寿社会係（福祉）
- ・介護保険係
- ・地域包括支援センター

### 研修重点項目

① 岩出市の介護認定者  
数と、認知症患者数  
昨年未現在、65歳以上  
の高齢者数は、約1万人  
で要支援・要介護認定者  
数は、1,780人。  
この中で認知症認定者  
は841人である。

### ② 岩出市の認知症高齢 者の支援取組内容

- ・高齢者の総合相談支援
- ・認知症サポーター要請
- ・認知症家族の交流会
- ・高齢者虐待対応



介護予防教室

- ・成年後見制度と  
利用支援
- ・認知症予防教室開催
- ・介護職員の研修会

### ③ 認知者早期発見・ 早期対応

単なる物忘れの他、う  
つ状態による、一時的な  
記憶力の低下や運動機能  
の低下、大きな手術や入  
院などで、急性脳障害な  
どによる一時的な幻覚や  
瞑想など、認知症とよく  
似た症状が現れる場合が  
あるので、よく観察が必  
要である。

認知症の中には、他の  
原因で発症する場合があ  
る。

- ④ 認知症の理解  
2004年12月から認  
知症と呼び名が変更され  
た。

### 認知症の定義

認知症とは、様々な原  
因により、脳の働きが悪  
くなったために、記憶力  
や判断力が低下し、日常  
生活に支障が出てくる状  
態。

### ⑤ 家族や介護者の 接し方

- ・自尊心や個性の尊重
- ・過去・現実の混同理解
- ・介護人の気持ちに反応
- ・感情表現抑制が不能
- ・否定より肯定の気持ち

### ⑥ 認知症予防

- ・生活習慣見直し
- ・体を極力動かす
- ・頭の体操
- ・心を元気に
- ・バランスの良い食事
- ・3つの機能回復  
(出来事記憶・計画力・  
注意分割力)

### ⑦ まとめ

認知症患者への対応で  
大切なことは、認知症に  
ついて、正しく理解し本  
人の気持ちをくみ取り、  
症状にあった適切な対応  
が大切です。

認知症があっても、本  
人はもちろんのこと、介  
護する家族が地域で安心  
して生活できるように、関  
係機関と連携しながら認  
知施設への対応を含め  
た取り組みを進めていき  
たい。



認知症予防教室

### 建設常任委員会

委員長 玉田 隆紀  
副委員長 田中 宏幸  
委員 松下 元  
" 上野 耕志  
" 尾和 弘一

2月3日「紀の川中流流域下水道那賀浄化センター施設」、「住吉川改修工事」の現地視察を行いました。

まず、那賀浄化センター施設を視察し、説明を受けました。

和歌山県の下水道普及率は全国ワースト2位となっており、普及率向上



のため整備を進める必要があります。

下水道は、人が快適な生活を送るため、また、水の環境を守り循環型社会を実現するために欠くことのできないものです。



つぎに、住吉川改修工事の現地視察を行い、河川改修工事の進捗状況を聞きました。

現在、高の橋付近まで工事は完了しています。

住吉橋までは、平成26年度以降施工予定となっています。



### 総務文教常任委員会

委員長 井神 慶久  
副委員長 宮本 要代  
委員 梅田 哲也  
" 西野 豊  
" 三栖慎太郎  
" 市來 利恵



### 一日防火デー

\*平成25年12月1日  
市内26ヶ所の屯所の検閲を行いました。  
各消防団の屯所は整頓され、消火栓の位置を示す地図が貼られたり、各消防団の工夫がされました。



## 議会広報常任委員会

1月23日に鹿児島県始良市議会、24日には同じく霧島市議会に、議会だよりの研修視察に行ってきました。

始良市議会では、企画、議案審議の原稿、校正、写真撮影を全議員で行い、記事の内容や、レイアウトなどを担当委員を決め行っていました。

広報委員会を多く開催し時間を惜しまず、「公正、正確、客観性を保つ」を編集方針とし、むずかしい言葉やカタカナを多用せず、わかりやすい議会だよりを心がけているとのことでした。



読みやすい紙面作りとして、文章は半分以下、写真や余白を20%以上見出しは具体的であるか、文中に使っている言葉を使用しているかなどに留意しているとのことでした。

フルカラーでありながら作成単価が非常に安価であるのも驚きでした。

霧島市議会は、昨年毎日新聞主催の広報コンクールで優秀賞を受賞されました。

視察前の段階では、文字数が多くて読みづらいつと感じていましたが、実際にお話を聞き、議会だよりを手にとってみると優秀賞受賞もなるほどと実感できるものでした。



表紙の写真は、「きりしまフォトコンテスト」で受賞した写真を使用し、インパクトのある表紙となっています。

最初の見開きは、トピックスや企画記事を掲載し、効果的でダイナミックな見出しや、一般の雑誌のようなレイアウトで読者を引きつけるような工夫が随所に感じられました。全体にフルカラーを存分に発揮し、配色に気を使い読み飽きしない紙面となっています。

また、市の広報もたいへん秀作で、読みやすいのはもちろんのこと、市内事業所のクーポン券の添付。市民に霧島市のPRをしていただくことを目的に、市内の美しい風景の絵はがきを付けていました。

両市とも、事務局はもちろんのこと担当されている広報委員会の議員の皆様も快く対応していただきました。

また、より良い紙面作りにと目標も高く、積極的に取り組んでいることがとても伝わってきました。

私どもも、さらなる高見を目指し、決意も新たに取り組んでまいります。

始良市・霧島市の皆様ご教授ありがとうございます。

